劇　動物用医薬品　500mL

アマリン® レンサ「経口用」

〔ぶりα溶血性レンサ球菌症（酵素処理）
不活化ワクチン〕

有効成分（ワクチン1本中）
ラクトコッカス・ガルビエ
TE 9501株不活化菌
総菌数 2.5×10^{13} 個以上

製造番号

貯法2～10℃暗所
注意-指導機関（家畜保健衛生所、魚病指導センター、水産試験場等）の直接の指導を受けて使用すること。

最終有効年月

使用説明書

使用前に必ず本使用説明書を読み、注意事項を守って使用して下さい。

［製法及び性状］

本剤はラクトコッカス・ガルビエ（α溶血性レンサ球菌症原因菌）の培養菌液を遠心集菌後、再浮遊して得た菌液を酵素処理し、リン酸緩衝液を加えた後、水酸化ナトリウム溶液でpH調整し、これにホルマリンを加えて撹拌後、静置して不活化したものである。本剤は、静置すると褐色の透明な上層液と僅かに褐色を帯びた乳白色層に分かれ、振り混ぜれば帯褐乳白色、不透明の均質な懸濁液となる。pHは6.4～7.2である。

［成分及び分量］

ワクチン100mL中：ラクトコッカス・ガルビエTE 9501株不活化菌総菌数 5×10^{12} 個以上、ホルマリン0.3mL以下、塩化リゾチーム3.0g以下、20倍濃度リン酸緩衝液5mL、精製水 残量

［効能又は効果］

ぶり属魚類のα溶血性レンサ球菌症の予防

［用法及び用量］

平均魚体重約100～400gの健康なぶり属魚類に魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.5mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。なお、3か月以上の免疫効果を得るためには、初回投与約3か月後、魚体重1kg当たり、1日量としてワクチン0.125mLを飼料に混ぜて5日間経口投与する。

（反対側の説明事項も必ずお読み下さい。）

［貯法及び有効期間］

1．遮光して、2～10℃に保存する。
2．有効期間は、3年間である。（最終有効年月は上記）

［包装］

1本　500mL

［留意事項］

本剤の製造過程において塩化リゾチームを使用しているが、製造後においては大半の酵素活性が失われているため、本剤を投与してもリゾチーム又はその塩類による魚類の表皮保護作用はない。

製造販売 日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
発売元 株式会社インターベット
東京都千代田区九段北1-13-12

劇　動物用医薬品　500mL

アマリン® レンサ「経口用」

［使用上の注意］

（一般的注意）
1．本剤は、ぶり属魚類のα溶血性レンサ球菌症を予防するために使用し、ぶり属魚類以外の魚又は動物には使用しないこと。2．本剤は、正しく使用しなければ病気の予防効果が得られないおそれがあるので、本使用説明書の［用法及び用量］に従って正しく使用すること。3．本剤の一回目の投与は、体重約100～400gの健康なぶり属魚類に行うこと。4．本剤を低水温で使用した場合には病気の予防効果が得られないおそれがあるので、水温が20℃以下の時には使用しないこと。5．本剤は、指導機関（家畜保健衛生所、魚病指導総合センター、水産試験場等）の直接の指導を受けて使用すること。

（使用者に対する注意）
1．本剤が誤って眼、鼻、口に入った場合、又は皮膚についた場合には、流水等でよく洗い流すこと。必要があれば本使用説明書を持参し、医師の診察を受けること。

本ワクチン成分の特徴

抗原			アジュバント	
微生物名	人獣共通感染症の当否	微生物の生・死	有無	種類
ラクトコッカス・ガルビエ	否	死	無	

本ワクチン株は、ホルマリンで不活化されており感染性はない。
本剤に対するお問い合わせは下記までお願い致します。
株式会社インターベット　ポートリー＆アクアカルチャー事業部
〒102-8667　東京都千代田区九段北1-13-12
TEL 03-6272-0770　FAX 03-6238-9080

2．作業時には防護メガネ、マスク、手袋、長靴等を着用し、本剤に直接さわらないよう注意すること。

（魚に対する注意）
1．制限事項：(1)魚の食欲、泳ぎ方、体色などの状態をよく観察し、次のいずれかに該当すると認められる場合は、使用しないこと。①何らかの病気にかかっていることが明らか、又は疑われるもの ②明らかな栄養障害のあるもの ③異常遊泳やスレが認められるもの (2)病気の治療を継続中又は治療後4日以内の魚には使用しないこと。(3)導入又は移動後4日以内の魚では、そのストレスが原因となって異常が認められる場合があるので、少なくとも1週間は新しい環境に慣らした後で本剤を使用すること。(4)本剤は、平均体重100g未満の群には投与しないこと。(5)本剤の使用後、少なくとも1週間は魚の安静につとめ、移動等は避けること。(6)初回投与後3か月目以降、病気の流行があると予測される場合は、第2回目の投与をすること。
2．相互作用：(1)期待する予防効果が得られないことや思わぬ副作用が発生するおそれがあるので、本剤には、他の薬剤を加えて使用しないこと。また他の薬剤を使用中又は使用後4日以内の魚にも使用しないこと。
3．適用上の注意：(1)本剤と餌を混ぜる時に用いる器材はよく水洗した清浄なものを用いること。(2)本剤を餌に混ぜる時には、餌の種類に応じて均一に添加できるよう、あらかじめ適量の水で希釈すること。(3)本剤を混ぜる餌の量は、魚の飽食量の約8割を目安にし、すみやかに食べきれる量とすること。(4)本剤を混ぜた餌が余った場合には、再使用せずに地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。(5)本剤を混ぜる餌には、本剤が吸着しない餌を使用しないこと。

［取り扱い上の注意］

1．本剤は使用前によく振り混ぜて均質な状態にしてから使用すること。2．外観又は内容に変色などの異常を認めたものは使用しないこと。3．本剤は、使用期限が過ぎた時は使用しないこと。4．開封時にアルミキャップの切断面で手指を切るおそれがあるので注意すること。5．使い残りの本剤は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。6．使用済みの容器は、地方公共団体の条例等に従い適切に処分すること。7．一度開封した本剤はすみやかに使用すること。使い残りの本剤は雑菌の混入や効力低下のおそれがあるので、使用しないこと。8．容器の破損を防ぐため、強い衝撃を与えないこと。

［保管上の注意］

1．本剤は、小児の手の届かないところに保管すること。2．直射日光、加温又は凍結は本剤の品質に影響を与えるので、このようなことは避けること。3．本剤は、冷蔵庫等の冷暗所に保存すること。

［その他の注意］

1．欧米において人の心内膜炎からの分離例が報告されている。

［2015年2月改訂］

製造販売 日生研株式会社
東京都青梅市新町9丁目2221番地の1
発売元 株式会社インターベット
東京都千代田区九段北1-13-12